

製品名: TUTase ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19438**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	TUT1
別名	TUT1; RBM21; Speckle targeted PIP5K1A-regulated poly(A) polymerase; Star-PAP; RNA-binding motif protein 21; RNA-binding protein 21; U6 snRNA-specific terminal uridylyltransferase 1; U6-TUTase
遺伝子 ID	64852.0
SwissProt ID	Q9H6E5
免疫原	抗血清はヒト TUT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

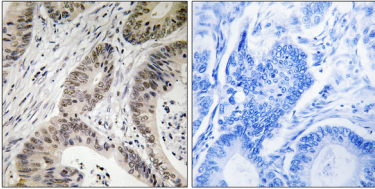
背景

この遺伝子は、末端ウリジリル基転移酵素と核ポリ(A)ポリメラーゼの両方の機能を持つヌクレオチルトランスフェラーゼをコードしています。コードされている酵素は、核内低分子 RNA および特定の mRNA の 3'末端に特異的にヌクレオチドを付加または除去し、遺伝子発現および細胞増殖の制御に機能すると考えられます。[RefSeq 提供、2009年4月],触媒活性: $UTP + RNA(n) = \text{二リン酸} + RNA(n+1)$.,機能: U6 snRNA のみを基質として受け入れる、非常に特異的な末端ウリジリル基転移酵素です。U6 snRNA は、3'末端にヌクレオチドが付加されるだけでなく、3'末端からヌクレオチドが除去されるという点で独特です。U6-TUTase は、制御された伸長反応を担い、その結果、新たに転写された U6 snRNA にある 4つの 3'末端 UMP 残基が修復されます。.,PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。.,類似性: 1つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインが含まれます。.,

研究分野

-

画像データ



TUT1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。